

日本共産党
すみだ区議団ニュース
 第505号
 発行 日本共産党墨田区議会議員団
 発行責任者 高柳東彦 / 編集責任者 ときま剛
 発行所 墨田区吾妻橋1-23-20 ☎直通5608-6326
 墨田区役所16階 日本共産党区議会控室

新型コロナ・消費税・防災対策など 区民の暮らしを最優先する区政へ

高柳東彦区議が代表質問



代表質問を行う高柳東彦区議(2月17日、区議会本会議場)

墨田区議会定例会2月議会が、2月5日から3月30日までの日程で始まりまし
 2月5日の山本亨区長の施政方針演説を受けて、
 2月17日には各会派の代表質問が行われ、日本共産
 党から高柳東彦区議団長が質問に立ちました。
 高柳区議は、「新型コロナウィルス感染症対策」
 「消費税増税後の生活実態と国への働きかけ」、「都
 立病院の独立行政法人化問題」、「区の新年度予算
 案」、「防災対策の充実」などについて、区長の見解
 を質しました。

新型コロナウィルス感染症対策 できることはなんでもやる構えで

高柳 新型コロナウィルス感染症は、今後も拡大すると見られている。①情報提供と相談体制の充実。②保健センターなど感染症対策部署の体制強化。③感染の疑いのある人が、医療機関を受診した際の適切な対応。④感染症を拡散させず、根絶に向けた対策、水際作戦や、医療と検査の体制強化。⑤中小企業者への影響を調査し、対策を講じることを求める。

区長 ①正確な情報の発信に努め、コールセンターを開設し相談体制を整備した。②保健所を中心に、組織横断的な体制で迅速に対応する。③医療機関に対し、渡航歴の確認など注意を呼び掛ける。④相談や検査に24時間体制で対応するほか、感染症対応の医療機関を拡充するなど万全を期している。⑤状況を調査し、国の緊急対策等の動向を注視していく。

消費税率は5%に戻すべき

高柳 ①消費税率10%への増税は、区民生活に重くのしかかっている。中小商店は、売り上げが減少し、複数税率で事務負担が増えるなど三重苦だ。このような区民生活の実態を、どう認識しているのか。②消費税率を5%に戻すこと、インボイス制度は導入しないことを国に強く働きかけるべき。③消費税増税の影響の実態調査を行い、中小商工業者

区長 ①区民生活にも一定の影響が生じていると推察される。②消費税の増収分が社会保障の充実に活用されており、5%に戻すことや、インボイス制度を導入しないことを国に働きかける考えはない。③区内事業者に対しては、必要に応じた支援策を検討していく。

都立病院の独法化に反対せよ

高柳 都は、すべての都立病院・公社病院を地方独立行政法人化する予算を計上した。独法化では、経営の効率化や採算性が強調され、大幅な病床数削減や公的に担う医療の後退などが起きている。墨東病院の地元区長として、独立行政

区長 行政的医療の提供や地域医療の充実への貢献も、これまで通り行なっていくと聞いており、独立行政法人化に反対する考えはない。

区予算案＝暮らしを守る姿勢が弱い

高柳 区の予算案には、区立保育所における紙おむつの処理、災害時の要配慮者個別支援プランの作成など、区民要求に応えた施策も含まれてはいるが、貧困対策や区民の負担軽減策など、暮らしを守る新たな事業が見られない。一方で、東武鉄道関係の再開発事業などに約70億円計上してい

区長 区の行財政運営を、「観光まちづくり」など開発優先から、区民生活優先に転換を図るよう求める。

区長 区民生活の安全・安心を確保する施策を確実に行った上で、本区の成長につながる取組を進めており、開発優先という認識は持っていない。

台風・洪水対策の抜本的強化、避難所の改善など、防災対策の充実を

高柳 ①地域防災計画に、台風・洪水対策を地震対策と同等に位置づけ、荒川等が氾濫した場合の被害想定を行い、様々な対策を講じるべき。②避難所の改善で、簡易ベッドの導入、衛生的なトイレと温かい食事が重要。特に段ボールベッドの計画的な備蓄を求める。

区長 ①広域避難や垂直避難に係る様々な対策について、引き続き取り組んでいく。②備蓄倉庫の整備状況等も踏まえながら、トイレや食事の質の改善と併せて、検討していく。

墨田区の新型コロナウイルス感染症への緊急対策

(2月28日現在)

- 区立小・中学校は、3月25日まで休業。区立幼稚園は、家庭での保育が行えない場合は受け入れる。
- 保育園等は通常通り運営。学童クラブは学校の休業にあわせ、午前中から運営。児童館は開設日時を一部短縮する。
- 区が主催するイベントは、3月31日まで原則として中止する。他の主催するイベント等は自粛を要請する。
- 区施設について、休業、及び一部休止する。区施設のキャンセル料は返還する。
- 相談体制や広報を強化する。
- 中小企業への緊急融資
売上が昨年より5%以上減少している中小企業を対象に3月4日から実施。限度額は1000万円、利子補助を行い本人負担は0.2%、信用保証料は全額補助。



視実

▼新型コロナウィルスで、不安と混乱が広まっています。ある小学1年の児童は、4月に引越しを予定していますが、春休みが前倒しになり、突然友達とお別れになってしまいました。また、居酒屋で働く大学生は、「送別会のシーズンが自粛ムードで大打撃。バイトのシフトを大幅に減らされてしまった」と話します。▼マスクや消毒液は、いまだに店頭から姿を消したまま。トイレトーパーやお米などの不足を心配する声が報道されると、すぐに店頭から消え、開店前のスーパーに「並びたくないけど、並ばないと買えなくなる」と、子育て中のお母さんが嘆いていました。▼そのような中、日本政府の対応は、世界から比べても遅れているとの声が出ています。韓国では、2月中旬の時点で1日50000件の検査をし、休業補償も行なっています。▼突然の中小高、特別支援学校の一休校で、現場は混乱しています。感染が広がっていない地域も休校することに、科学的な根拠も示されていません。いま必要なのは、科学的な感染症対策と、財源を伴った医療・検査体制の抜本的強化、休業補償、経済対策を総合的に国が示すことです。

2020年度墨田区予算案 総額1808億円余に

墨田区の2020年度予算案が、区議会予算特別委員会(2/25~3/16)で審査されています。予算総額は、一般会計と、国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険の3つの特別会計を合わせると1808億4100万円で、前年度比61億4500万円、3.5%の増となっています。

下記のように、区民要求を反映した新規・拡充事業もあります。高すぎる国民健康保険料や後期高齢者医療保険料をさらに値上げするなど、暮らしを守る役割を果たすものになっていません。日本共産党は、「予算組み替え案」を提案する予定です。

区予算案の主な新規・拡充事業

- ☆区立保育所における紙おむつ処理サービス
- ☆災害時の要配慮者個別支援プランの作成
- ☆町会・自治会会館の建設費等の補助限度額引き上げ(500万円→1000万円)
- ☆操業環境を改善するための設備投資の支援
- ☆障害者差別解消法の普及啓発(心のバリアフリー事業等の実施)
- ☆災害医療体制の構築(医療資器材の整備)
- ☆産後ケア 宿泊型・訪問型の拡充、デイケア型の新規実施
- ☆ワクチン再接種費用の助成
- ☆野良猫の不妊去勢手術費用の助成拡充
- ☆保育施設に対する巡回調査・指導の充実
- ☆学童クラブの増設
- ☆子育て支援活動を行う事業者への活動支援
- ☆押上駅前自転車駐車場のラック更新
- ☆見番通りの無電柱化
- ☆小学校屋内運動場25校への空調設備の設置

安心してできる介護保険、児童相談所の開設 高齢者の住宅確保と家賃助成の実現を

としま剛区議が一般質問



一般質問を行う、としま剛区議
(2月20日、区議会本会議場)

2月20日、としま剛区議が一般質問に立ち、①特養ホームの増設や介護保険料の引き下げ、②高齢者向け住宅の整備や家賃助成の実現、③児童相談所の設置の理念やスケジュールなどについて、山本亨区長に積極的な取り組みを迫りました。

介護保険制度の改善を

としま ①介護保険制度は、2021年度から第8期を迎える。特養ホームの待機者は459人(昨年11月)に上っている。次期事業計画では、実態に見合った増設を図るべき。②介護度を低く判定されたとの苦情

が少なくない。要介護者や家族の立場から要介護認定の改善を。③今期の介護保険料の値上げ額は23区で一番高かった。保険料を引き下げるため、国庫負担を増やすよう国に働きかけるべき。区一般会計からの繰入

れも行うよう求める。**区長** ①施設の整備及び運営は、介護保険料に影響を与えることも考慮し、事業計画に基づき整備していく。②要介護認定の精度の維持・向上のため、調査員への研修や、委員の模範審査会の開催等を行っている。③特別区長会から国へ「介護保険制度の充実」と

高齢者向け住宅施策の充実を

としま剛区議が一般質問

①実績ゼロの「すまい安心ネットワーク事業」は制度を抜本的に改善せよ。②個室借り上げ住宅は目標より64戸不足している。早急な整備を求める。③都市型軽費老人ホームの大幅な増設を。④「住まいは人権」との理念で、家賃助成を実現すべき。**区長** ①国の登録制度等に課

児童相談所の理念を共通認識に

としま ①新保健施設に子育て支援総合センターを移転し、児童相談所の機能を持たせるとしているが、区に設置する意義や役割を鮮明にして、共通認識にすることが必要。②開設時期をいつごろか定めているのか。③建設費や管理運営費等はこのくらいになるのか、その財源をどう確保するのか。**区長** ①区が設置する意義は切れ目のない一貫した支援を迅速かつ丁寧に対応できること。②多くの難しい課題があり、今後慎重に検討していく。③経費は精査していく。都区財政調整が実態に即した配分となるよう、都に強く求めていく。

暮らし・福祉の充実を 求める声が次々と

日本共産党区議団が「区政懇談会」を開催



日本共産党墨田区議団は2月14日夜、女性センター会議室において「区政懇談会」を開催しました(写真)。冒頭、高柳東彦区議が「率直にご意見・ご要望をお聞かせいただき、2・3月議会の論戦に生かしていきたい」とあいさつし、区の新年度予算案の特徴などを報告しました。

参加者から、「台風の時、でに風評被害が出ている。感染者が増えたら、墨東病院だけでは足りないのでは」、「国保料の値上げはやめさせてほしい」、「基金を増やしているが、使い道は決まっているのか」、「都営住宅の単身者向け募集は1戸しかない。高齢者向けの住宅を増やしてほしい」など、切実な声が寄せられました。



シリーズ

先日、肺炎が治った90歳の女性喘息患者が退院した。もともと腰痛で柳原病院に入退院をくり返しており、地方から息子が長期で介護に来ていた。結局、2回目の入院で肺炎が完治し、喘息の発作がやっとおさまった。1回目は、点滴が嫌で、5日目に退院してしまい、また診療所へ来て、やむを得ず抗生剤の点滴をやりましたが、回復が遅いので、もう一度入院をすすめました。何しろメプ

すみだ共立診療所 吉沢先生にきく

高齢者の肺炎

今、話題のコロナウイルスは、もともと風邪のウイルスで、鼻水、のどが痛くなる程度のヒトコロナウイルスですが、新型とすると別である。もとはコウモリが

先日、肺炎が治った90歳の女性喘息患者が退院した。もともと腰痛で柳原病院に入退院をくり返しており、地方から息子が長期で介護に来ていた。結局、2回目の入院で肺炎が完治し、喘息の発作がやっとおさまった。1回目は、点滴が嫌で、5日目に退院してしまい、また診療所へ来て、やむを得ず抗生剤の点滴をやりましたが、回復が遅いので、もう一度入院をすすめました。何しろメプ

これには私もびっくりしました。メプチンも使わない。顔色も良くなり、笑顔でした。

今、話題のコロナウイルスは、もともと風邪のウイルスで、鼻水、のどが痛くなる程度のヒトコロナウイルスですが、新型とすると別である。もとはコウモリが

原因らしいが、中国の動物市場で広がった後にヒトに感染したという。だから実態がわからず、不明なことが多い。インフルエンザよりも少し致死率が高いらしい。2020年に中国広東省で発生したSARSは、重症な呼吸器感染症を起した。全世界に広まったが、約8カ月で収束した。日本国内で患者の発生はなかった。これもコロナウイルスだった。どんなウイルスでも感染は怖いけれど、本人の抵抗力、元気があれば極度に恐れる必要はない。新型を予防するにはワクチンしかありません。